

2022年3月期 第1四半期

決算説明資料

株式会社ナガワ (証券コード : 9663)

2021.7.26

2022年3月期 第1四半期 連結決算概況 (2021/4/1 ~ 2021/6/30)

B/S	4
P/L	5
要素別売上高増減	6
四半期ごとの売上高推移	7
セグメント別	8
ユニットハウス事業	9
モジュール・システム建築事業	10
建設機械レンタル事業	11
設備投資額と減価償却額	12
免責事項	13

2022年3月期第1四半期
連結決算概況

連結決算概況—B/S

	FY2020 Q1	FY2021 Q1	FY2022 Q1	YoY	
	19年4-6月	20年4-6月	21年4-6月	増減	増減率
※単位：百万円					
流動資産	24,213	23,258	23,924	666	2.9%
貸与資産	7,630	7,966	8,659	693	8.7%
固定資産	22,237	25,320	29,258	3,937	15.5%
総資産	46,450	48,579	53,182	4,603	9.5%
流動負債	4,042	3,643	3,887	243	6.7%
純資産	42,259	44,768	48,438	3,669	8.2%
自己資本比率 (%)	91.0%	92.2%	91.1%	△1.1pt	-
1株当たり純資産 (円)	2,745.06	2,873.51	3,093.21	219.70	7.6%

連結決算概況—P/L

	FY2020 Q1	FY2021 Q1	FY2022 Q1	YoY	
	19年4-6月	20年4-6月	21年4-6月	増減	増減率
売上高	6,303	6,123	7,055	931	15.2%
販売収入	3,130	2,901	3,406	504	17.4%
レンタル収入	3,173	3,221	3,649	427	13.3%
売上総利益	2,425	2,665	2,970	305	11.5%
営業利益	604	812	1,002	189	23.3%
経常利益	702	981	1,143	162	16.5%
当期純利益 (※)	449	652	751	98	15.1%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

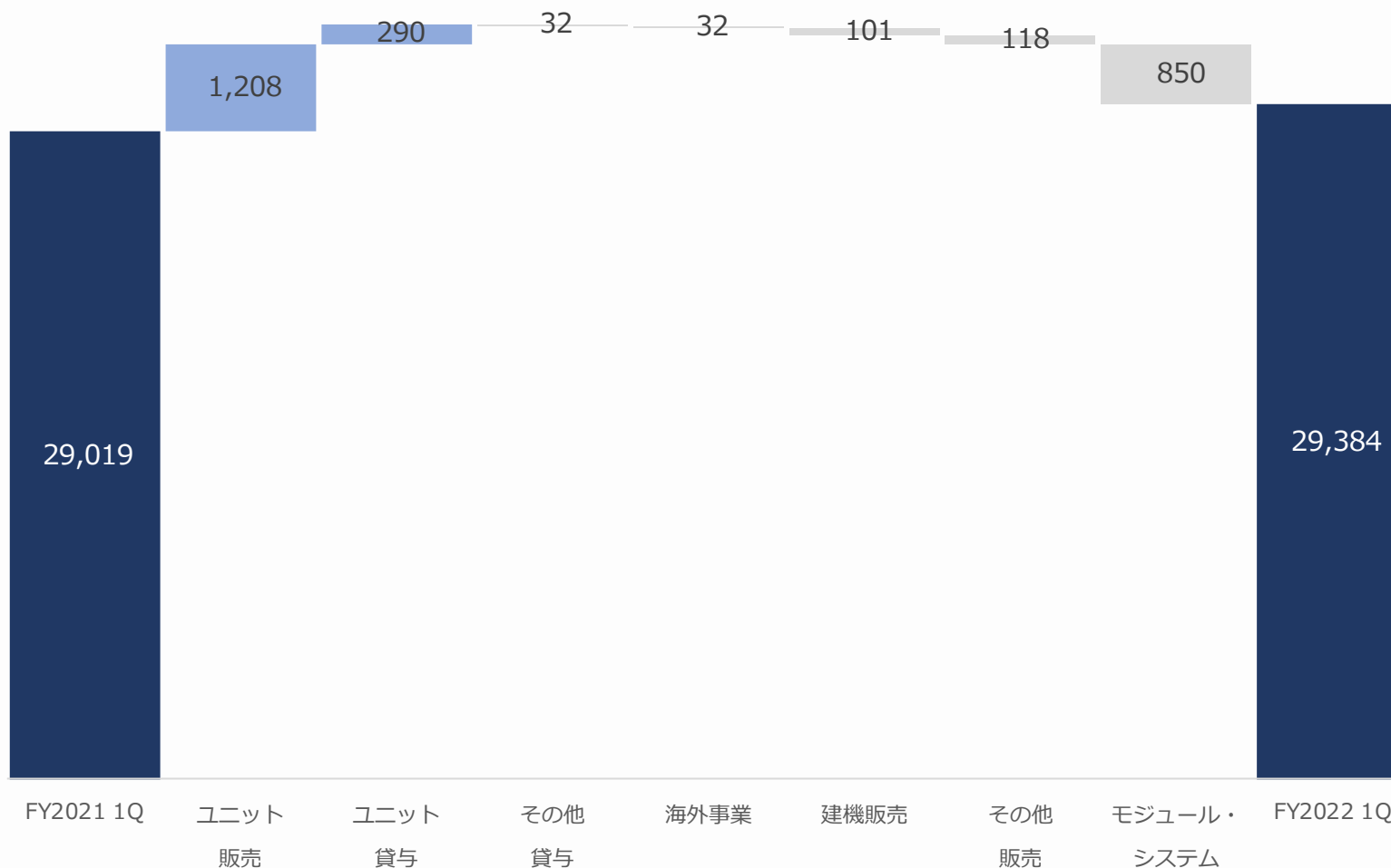
連結決算概況—要素別売上高増減

2022年3月期第1四半期は、すべてのセグメントで売上が堅調に推移した。

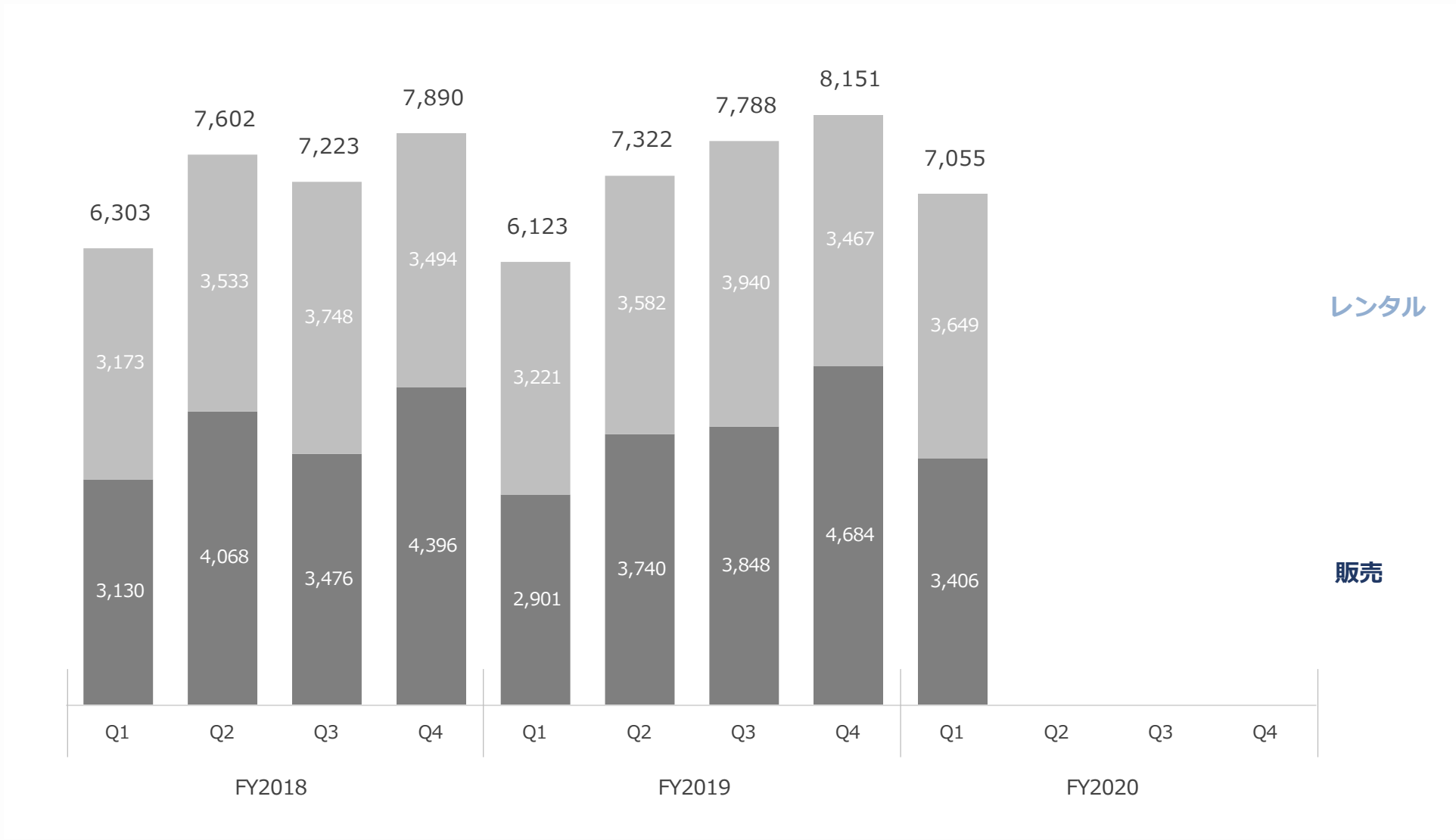
ユニットハウス事業/モジュール・システム建築事業/建設機械レンタル事業すべてが増収となり、初の70億円超えとなった。

主な要因は前期に引き続きコロナ関連需要およびオリンピック需要によるレンタル増、建築案件の増加ならびに建設機械レンタルの増加であり、建築案件については前期の落ち込みから前々期並みの水準まで回復した。

(単位：百万円)



連結決算概況—四半期ごとの売上高推移



連結決算概況－セグメント別

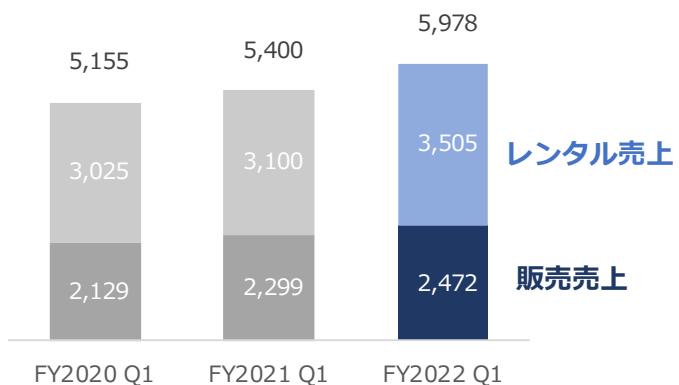
	FY2020 Q1	FY2021 Q1	FY2022 Q1	YonY	
	19年4-6月	20年4-6月	21年4-6月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	6,303	6,123	7,055	931	15.2%
ユニットハウス事業	5,155	5,400	5,978	577	10.7%
モジュール・システム建築事業	962	577	876	298	51.8%
建設機械レンタル事業	185	145	200	55	37.8%
営業利益合計	604	812	1,002	189	23.3%
ユニットハウス事業	710	795	949	154	19.4%
モジュール・システム建築事業	51	58	82	23	40.8%
建設機械レンタル事業	△31	△27	△16	10	-
全社消去	△124	△13	△13	-	-

※全社消去の算定基準を2021年3月期より変更したため、前期の数値を今期基準に合わせて変更しています。

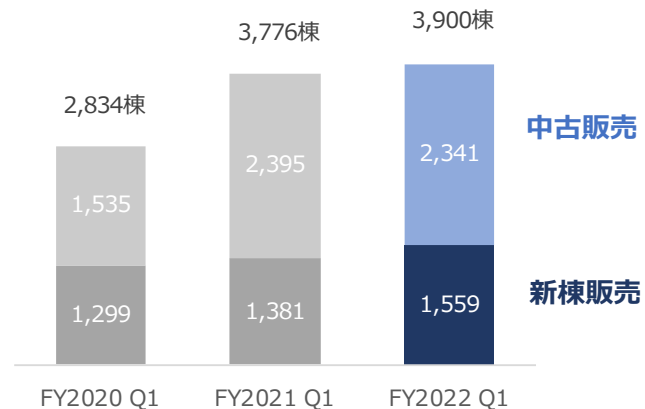
連結決算概況—ユニットハウス事業

ユニットハウス事業は堅調な土木関連需要に加え、コロナ対応の空間確保ならびにオリンピック関連の受注により、販売レンタルともに増収。また前期から継続している増産体制も、確実な受注確保につながった。

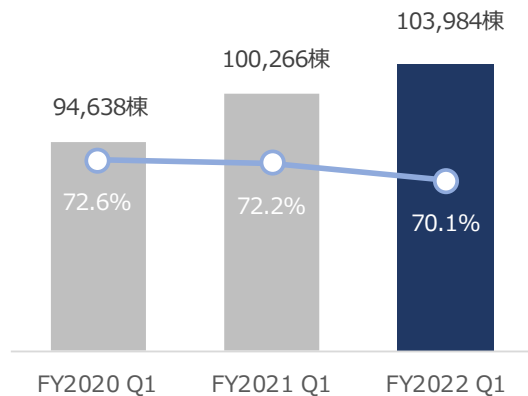
[販売売上とレンタル売上]



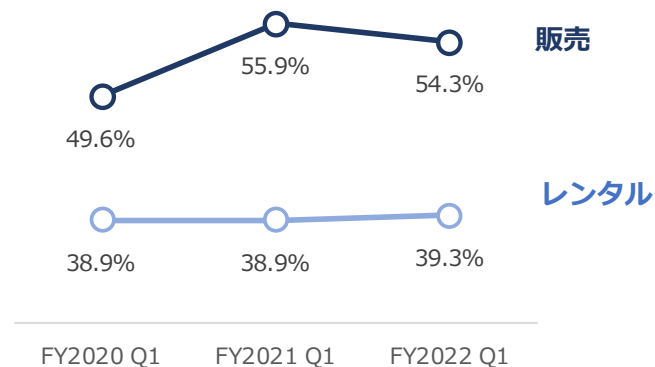
[販売棟数]



[保有棟数と稼働率]



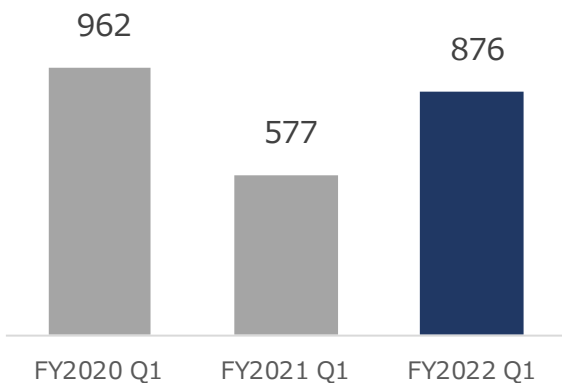
[売上総利益率]



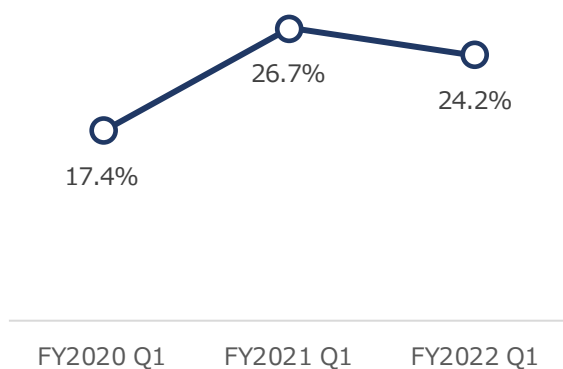
連結決算概況ーモジュール・システム建築事業

前期の建築案件の冷え込みからは回復基調にあり、前々期並みの水準まで復調している。
大型物件、中小型物件の受注残高も積み増しており、通期も安定した売上が確保できる見通しである。

[売上高推移]



[売上総利益率]

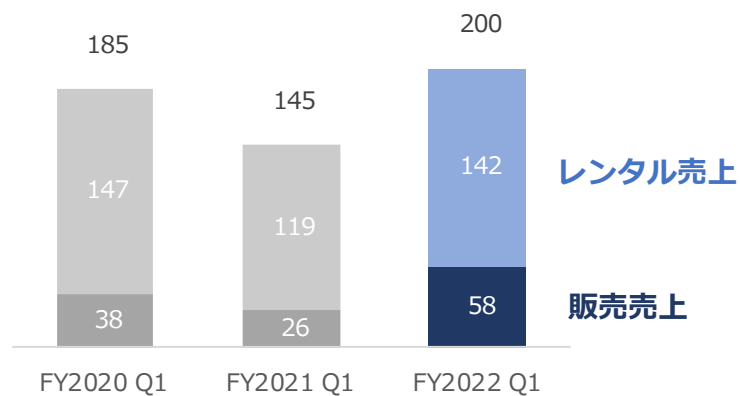


連結決算概況ー建機レンタル事業

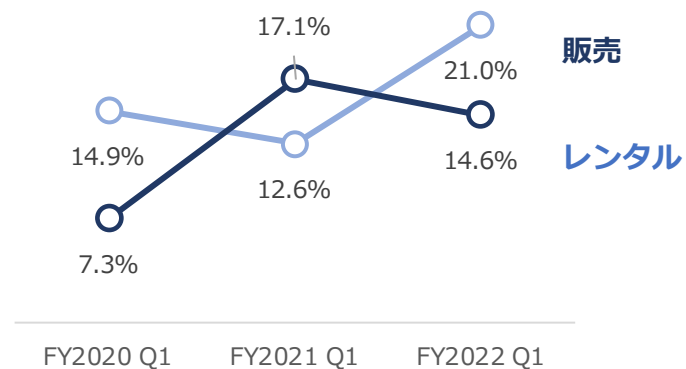
道南地区における工事も若干の回復傾向にあり、レンタルが好調に推移した。以前として建設機械の海外取引については不透明な状況が続いているが、第2四半期以降もレンタル市場は堅調に推移する見込み。



[販売売上とレンタル売上]



[売上総利益率]

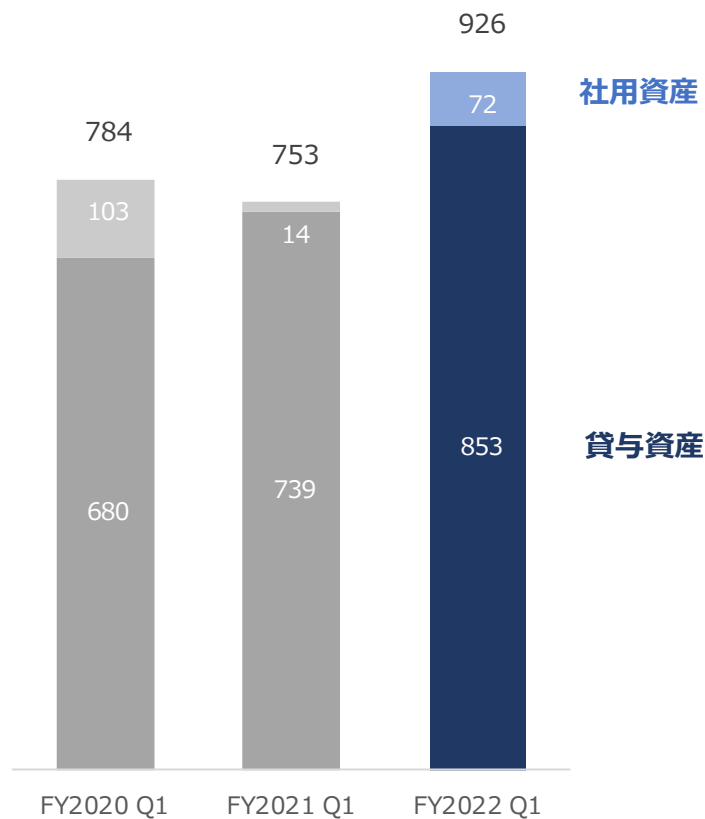


連結決算概況－設備投資額と減価償却額

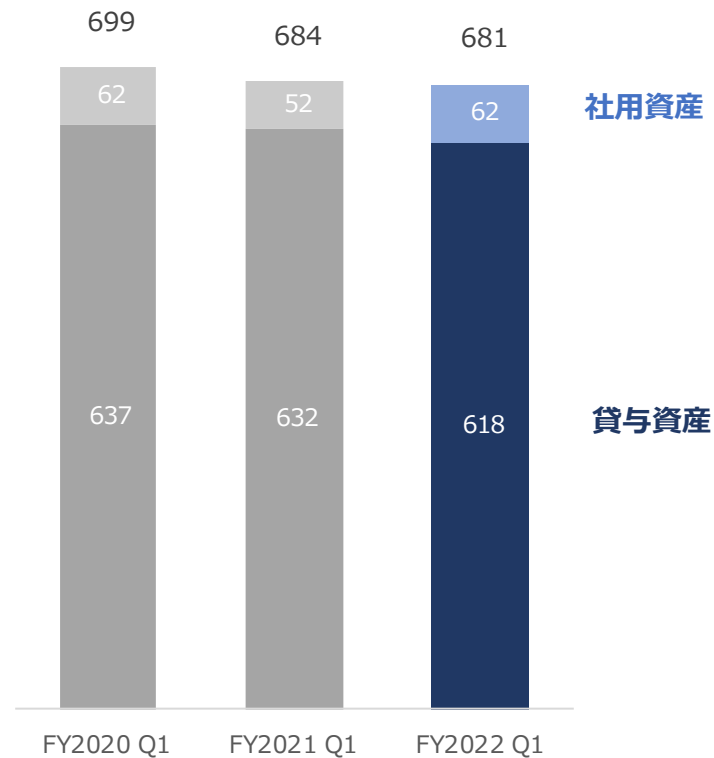
前期より引き続き生産を最大限強化し、過熱気味のレンタル需要に即応できる体制を継続している。

第2四半期以降も積極的なレンタル資産への設備投資を行い、レンタルの受注における機会損失を起こさない体制を維持する。

[設備投資額推移]



[減価償却額推移]



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー

<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>

